

若手職員による座談会



◆はじめに、皆さんの現在の業務内容を教えてください。

室田 私は、横浜税関監視部取締部門で、港や海上の巡回、外国貿易船から降りてくる船員に対する検問、業者などによる船用品の積み込みや販売など、関税法上の手続きが必要な申請に対する窓口業務を行っています。今はコロナ禍で機会がありませんが、本来は船に乗り込んでの船内検査やクルーズ船旅客に対する旅具通関検査なども行う部署です。

岩田 私は、中部国際空港の特別通関部門に在籍しています。当直の日は、主に航空貨物の通関審査を行い、日勤の日は、検査部門と合同で貨物の開披検査を行っています。窓口に来る方の中には通関手続きに不慣れな方もいるので、一から手続き方法を教えるなどの業務も行っています。

竹本 私は、函館税関本関で海港及び空港をはじめとする取締業務全般に従事しています。

主な業務内容は室田さんと同じですが、輸入貨物の検査や保税業務なども行っています。また、今はコロナ禍で航空機の入港がありませんが、航空機が入港した場合は、旅客に対する旅具通関検査も行います。

元井 私は、関西国際空港の審理部門で海外から入国する旅客が携帯する手荷物や、航空機で輸入される貨物の中に輸入してはならないものなどがあれば、その事件の全容を解明すべく調査を行っています。時には、調査の一環で、尾行や張り込み、取調べ、警察などの捜査機関と合同でコントロールドデリバリー（泳がせ調査）などを行うこともあります。

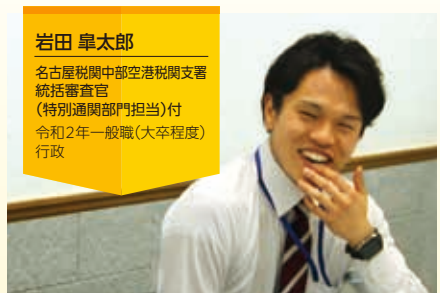
阿久津 私は、東京税関の本関で航空貨物の検査に従事しています。特別通関部門が通関審査の際に検査対象として選定した貨物を開披検査するほか、検査部門で独自に検査対象を選定して開披検査をすることもあります。荷物を持ち上げたり中身を取り出したりするので体力が要りますが、やりがいのある部署です。

◆現在の部署でのやりがいや苦労したことなどを教えてください。

室田 取締部門の窓口業務では、業者から船用品の積み込みや指定地外交通についてなど様々な相談が寄せられます。法律を読みこんで知識をつけ、相談に答えられるようになる過程はとてもおもしろいと感じます。私のいる部門は1当直24時間勤務なので、体が慣れるまでは大変でしたが、慣れてしまっからは平日休みが多いことを利用して趣味の時間を充実させています。

岩田 輸入者によっては通関の知識がない場合もありますが、そういった方の一から手続きを教えるには自分が通関の一連の流れを把握していなければなりません。1年目は知識をインプットするので苦労しましたが、2年目からはアウトプットできるようになり、そこにやりがいを感じました。また、当直勤務には慣れるまで苦労しました。仮眠の時間はありますが、午前1時から大量の輸入申告を審査し、午前7時までに終わらせ次の班に引継ぐためには、眠気と闘いながらも仕事にスピード感が求められます。

竹本 私は海港取締2年目で今のところ大きい事件はありませんが、業者からの電話に一人で対応できるようになりました。例えば、通常は外国の船が入港を許可されていない不海港に入港したいとの要望があり、それに対応しました。知識が身につくまでは大変ですが、職場の雰囲気がよく、上司や先輩職員に相談しやすい



岩田 卓太郎
名古屋税関中部空港税関支署
統括審査官
(特別通関部門担当)付
令和2年一般職(大卒程度)
行政



室田 圭介
横浜税関監視部
統括監視官
(取締部門担当)付
令和2年一般職(大卒程度)
行政



元井 和
大阪税関関西空港税関支署
統括審査官
(検査第4部門担当)付
令和2年一般職(大卒程度)
行政



竹本 萌
函館税関監視部
統括監視官
(検査第6部門担当)付
令和2年一般職(高卒者)
事務



阿久津 桃香
東京税関監視部
統括監視官
(検査第6部門担当)付
令和2年一般職(高卒者)
事務

環境なので苦労を乗り越えることができました。

元井 犯則調査を進めていく中で、押収した携帯電話を解析していくと、しらを切っていた嫌疑者から証拠となる情報や別の密輸事件に繋がる情報が出てくることがあります。このように、表面的に見えていた事実と異なる事実が解明されていくことにやりがいを感じます。嫌疑者に対して取り調べを行うこともありますが、うまく情報を引き出すには技術が必要なほか、相手との信頼関係の構築も重要になる場合があり、それについてはまだまだ未熟だと感じます。

阿久津 検査部門では密輸摘発に携われるのが魅力です。自ら検査対象として開披した貨物の中に、無申告の金製品が入っていたり、エックス線検査の結果、品名と異なる陰影が映ったために開披したところ偽造紙幣が入っていたりしたことがありました。摘発すると報告書を作成しなければならず、初めは難しかったのですが、今では自力で作成できるようになりました。

◆皆さんは、なぜ税関に就職しようと思ったのでしょうか。

室田 税関の業務は幅広いですが、「税関の3つの使命」のようにひとつの芯の通った目的があることに魅力を感じました。いざ就職する際に、東京税関と横浜税関で迷いましたが、それぞれ東京税関は「空(空港)」、横浜税関は「海(港)」の業務割合が高いという違いから、横浜税関を選びました。

岩田 大学生になった頃から漠然と公務員になろうとは思っていて、業務説明会で税関という仕事を知りました。説明会では旅具通関の話が中心でしたが、旅客だけでなく貿易全体に関わる業務をしていることを知り、その規模感に興味を持ち、大きなフィールドで働いてみたいと感じたことが、税関を志望したきっかけです。

竹本 私は公務員専門学校に通っていて、そこで税関のことを知りました。公務員はずっとデスクワークなのだろうな、というイメージがありましたが、税関の説明を聞いたところ、現場での業務が多く、体を動かしながら働ける職場で

楽しそうだと思い入関しました。

元井 税関の、水際で不正薬物などの密輸を防ぎ、安全・安心な社会を実現するというのがかっこいいと思い志望しました。税関では職員一人一人がやりがいと使命感を持っていて、生き生きとしているのが魅力です。入関する前は体育会系のイメージが強かったのですが、実際は人当たりが良く、面倒見のいい方が多いです。

阿久津 専門学校で先生から税関のことを教えてもらい、自分で詳しく調べてみたところ、業務の幅がとても広いことが分かりました。私は飽き性なので、部署が変われば仕事内容がガラッと変わる税関が自分に向いているのではないかと思います、入関しました。

◆プライベートはどのように過ごしていますか。

室田 私は当直勤務がメインなので、平日休みが多いです。平日は人が少ないことを有効活用し、朝からよくサウナにいったりリフレッシュしています。

岩田 私も当直勤務なので、平日休みがあります。夜勤明けの日は朝からジムに行き、そのあと趣味のゴルフに打ち込んでいます。平日は料金が安いので、週2回ほど練習に行っています。

竹本 私は土日休みなのですが、休暇が取りやすい職場であるため、休みを取って趣味である野球観戦やライブに行くことがあります。何もない日は家でゆっくり過ごすのが好きです。

元井 美味しいもの巡りやミュージカル鑑賞などをしています。また同期と予定を合わせてドライブに行ったりもしました。今の職場は忙しいときもありますが、オンオフがはっきりしているので、仕事が落ち着いているときはしっかり休むことができます。

阿久津 地元の札幌を出て、東京で就職するほどライブに行くことが好きなので、それに合わせて活動しています。土日と比べて平日のほうが当選しやすいのですが、変則日勤勤務なので平日休みがあり、それを最大限活用しています！

◆これから税関を志望される方へのメッセージをお願いします。

室田 税関には、水際で日本の安全を守るという重要な使命があります。他の機関にはない役割であるからこそ、責任も大きいですが、税関での業務には大きなやりがいを感じることができます。また、業務は多岐にわたりますが、経験豊富な上司や先輩、同期と一丸となって働くことのできる風通しの良い職場なので、未経験でも安心して業務に取り組めます。

岩田 具体的には、海外からの入国旅客の手荷物検査や輸出入貨物の審査、密輸事件の調査、税務調査などいろいろな業務があります。もちろん、学生時代に培った自分の強みや専門性を活かすこともできます。税関の仕事は専門性が高いため、各職場に応じた専門的な研修も数多く用意されています。

竹本 税関の一番の魅力は、幅広い業務があるため、様々なことに挑戦できる部分にあると思います。どの分野の仕事も面白く、経験を積むことできっと自分に合った業務を見つけられると思います。また、職場には頼れる上司や先輩がたくさんいるので、良い環境で仕事をすることができます。

元井 皆さんの言うとおり、税関の仕事は多種多様ですが、どの職場でも「日本を守る」という共通の使命のもと、職員が一丸となって業務にあたっています。そんな税関でやりがいを持って働けることは、皆さんにとって貴重な経験になるはずです。

阿久津 税関には支署・出張所がいくつもあるため、色々な場所で勤務する機会があり、様々な職員や業務に出会うことができます。業務の専門性が高く苦労することもありますが、今後何十年と続く社会人としての人生が、飽きない刺激的なものになると思います。

もう1つ大きな魅力は、やりがいを肌で感じられることです。自分自身で密輸品を摘発したときは、税関の使命達成に少し貢献できたのではないかと嬉しくなります。最後に、税関を志望される皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしております！